

《クリスマス…それは私達の変わらない希望》

私達は生まれてから何かを待ちながら今までやって来ました。必ず何かを待ちます。期待しながら待つこともあるし、時には何かを恐れながら待つ時もあります。私達は死ぬまで何かを待たなければなりません。赤ちゃんの時から歳をとっても何かを待ちます。その待つものが何であるかによって私達の全てが変わります。

待降節ということはイエス様が降りることを待つことです。今日、その第三の日曜日を迎えています。

さあ、考えてみましょう。たぶん皆様は、皆様の歳と同じ数ほどのクリスマスを待ちの望み、そして迎えてきました。今年も待っています。何故待っているのでしょうか。何故、同じことを繰り返しながら毎年12月24日の夜を待っているのでしょうか。私達にとって何かの意味があるので典礼や祭服を変えて、そのイエス様の誕生を待っているのでしょうか。それが具体的に皆様に何の意味があるのでしょうか。

信者でない方も、全然イエス様が見えないという方も12月に入るとクリスマスの雰囲気に入れ歌ったり踊ったり、また町には色々なイルミネーションやクリスマスの歌が流れます。しかし信者である私達にとって、何故クリスマスが「意味」があって待たなければならないものか、考えていらっしゃる方はいますか？

「救い?」「救い」ですか？

クリスマスにイエス様がこの世に来られたのは一つの変わらない希望です。「希望」…私達が待っているのは希望でなければならない。特にカトリック信仰は「希望」の宗教と言われています。私達が本当に待たなければならないこと、それは希望。クリスマスというものは希望であるからです。

さあ、希望とは何なのか考えてみましょう。「待つ」と同じ様に私達は生まれてから何かを「希望」しています。必ず希望します。それは「夢」ということも出来ます。年齢によって夢とか希望も変わるのあたりまえです。子供の夢とおとなの夢は違います。その違いは自然なことです。

希望それは何なのでしょう。今、皆さんが持っている希望それは何なのでしょう。カトリック教会が皆様に持って欲しいとされている希望とは何なのでしょう。私達は変わらない希望を持たなければならない。聖書の中には色々な人が全てを捨てて、全てを諦めてイエス様に付いて行ったという表現があります。

例えばルカ・8章2節。イエス様に付いて行きイエス様に奉仕した、いわゆるエルサレムの婦人達です。その人達は色々なことでイエス様に付いて行く決心をした人達です。その婦人たちは自分が持っている全てをなげうって、そのお金でイエス様とその一行を支えました。彼女達も子供の時からその歳になるまで色々な希望があったでしょう。その希望を果たすため、夢を手に入れるために一生懸命頑張って来たでしょう。その中でむなしさも時には成功した喜びも含め感情的にも色々な体験をしたことでしょう。しかしある日突然、イエス様との出会いによって自分の人生を変えました。自分が今まで追いかけて来た夢、希望は間違いではなかったか。“本当の「希望」について行きたい”。そして決断をしてイエス様に従うことになりました。

キリスト教が教える希望というものには必ず条件があります。それは「捨てる」ことです。捨てる時こそ真の希望は生じます。

今日、私達はクリスマスを迎えるためにこのミサを捧げています。振り返って見ましょうか。私達は信仰者としてイエス様のために諦めたことは何であったか、捨てたものは何であったか。ちょっと

考えてみましょう。

自分のものを手に握って、“これは絶対諦めない”という気持ちを持って正しい希望を得ようとする  
ことはあり得ないことです。何故ならこの世の中、色々な価値があっても、その中にキリストが教え  
た価値が何よりも優先的になって、その価値を求めるためにはほかの価値を捨てなくてはならない場  
合が多いからです。それは聖書の全ての人物達が証明することです。

何をすれば良いのでしょうか、何を諦めれば良いのでしょうか。それはそれぞれ皆様によって違う  
と思います。たまには憎しみ、たまには好み、たまには見栄。色々なものがあると思います。

クリスマスの真の意味は、今まで私達が間違えて来た道から解放されて、新しい道へ行く希望をイ  
エス様が下さったことを悟り、もう一回挑戦することです。毎年キリストが来られるのを祝う意味は、  
その方にとって正しい生き方、正しい生き方の意味を私達がもう一回習うためです。私達は希望を持  
たなくてはならないです。絶対変わらない希望です。すぐ消えてしまう希望は希望ではありません。

変わらない希望、その希望を築くために何があるのでしょうか。いろんなことがあると思いますが、  
とりあえず、心を綺麗にしましょう。清められた心によって正しい希望が見えるからです。クリスマ  
スマまであと1週間ほど残っています。今までたくさんの方がゆるしの秘跡を受けました。本当に感謝  
します。まだ受けていない方もいらっしゃるでしょう。私は待っています。平日でも日曜日のミサ前  
でも私は待っています。

中には告解は苦手だと言う方もいます。震えてしまうという人もいます。震える心が無かったら、  
それはゆるしの秘跡になりません。震えて見てください、自分の心のために。

中には涙を流す人がいます。それを恥ずかしいという人がいます。涙を流すことは恥ではありません  
。それは本能です。私は待ちます。真の希望を得るためです。

イエス様のために何を諦めたことがあるか。彼に犠牲を払いながら私が捧げたものがあるかどうか、  
それをまず考えて見てください。そしてそれが無かったら、私が彼から頂く真の希望のために私は何  
を諦めたら良いのかを黙想が出来る時間になって欲しいと思います。

ありがとうございました。